

2008年4月23日

市川市長千葉光行様

緑のみずがき隊  
市川緑の市民フォーラム  
真間川の桜並木を守る市民の会

## 大柏川流域の「水と緑の回廊（コリドー）基本計画」（第一次）

1. 大柏川流域の「水と緑の回廊」の実現に際する基本的考え方.....	2
1-1 上位計画との位置づけ.....	2
1-2 大柏川流域の「水と緑の回廊構想」との関係.....	2
■ 大柏川流域の「水と緑の回廊構想」（2006年2月市川市長宛に提出）.....	2
1-3 大柏川流域の「水と緑の回廊」の実現への取り組みの方向性.....	3
1-4 大柏川流域の「水と緑の回廊基本計画」と市民政策提案制度.....	3
1-5 大柏川流域の「水と緑の回廊基本計画」の検討方法.....	4
1-5-1 「水と緑」居心地資源の再発見行動 -水と緑の探検-.....	4
1-5-2 「水と緑」居心地資源の分析・評価及び自然環境形成方針の検討.....	5
2. 大柏川流域の「水と緑の回廊（コリドー）基本計画」.....	5
2-1 上位計画.....	5
■ 都市計画マスタープラン.....	5
■ みどりの基本計画.....	6
■ 環境基本計画.....	6
2-2 計画のテーマ.....	7
2-3 計画の基本方針.....	7
2-4 地域別の現状分析・評価.....	7
2-4-1 長田谷津・花池谷津の支線軸及び大町自然公園・大野町4丁目「水と緑の拠点」.....	7
2-4-2 柏井青少年の森「緑の拠点」及び柏井調節池・大柏川第一調節池「水と緑の拠点」.....	10
2-5 地域別の計画.....	12
2-5-1 長田谷津等「支線軸」.....	12
2-5-2 親子ふれあい農園等「水と緑の拠点」.....	13
2-5-3 花池谷津等「支線軸」.....	13
2-5-4 柏井青年の森・姥山貝塚公園等「緑の拠点」.....	13
2-5-5 大柏川第一調節池等「水と緑の拠点」.....	14

# 1. 大柏川流域の「水と緑の回廊」の実現に係わる基本的考え方

## 1-1 上位計画との位置づけ

大柏川流域の「水と緑の回廊基本計画」は、市川市の総合的なまちづくり計画である「都市計画マスタープラン」「みどりの基本計画」を基本にして、地域の生物多様性を高めながら自然とのふれあえる場をつくり、市民のレクリエーション機能を向上させる「まちづくり計画」です。

また、人と自然との共生という新しいまちづくりであり、市川市の「環境基本計画」を踏まえ、都市自然を生態的な観点からとらえ直して実現を図るものです。

## 1-2 大柏川流域の「水と緑の回廊構想」との関係

大柏川流域の「水と緑の回廊基本計画」は、私達、緑のみずがき隊・市川緑の市民フォーラム・真間川の桜並木を守る市民の会が2006年2月に市川市へ提出した大柏川流域の「水と緑の回廊構想」に基づき、自然と人とが共存し、市民が暮らしの中で生きものと豊かにふれあえる場を保全・再生・創出するまちづくりを、具体的な事業として示します。

私達は、同「水と緑の回廊構想」で、次のように謳いました。

### ■ 大柏川流域の「水と緑の回廊構想」（2006年2月市川市長宛に提出）

地域の中に生きものの良好な生息・生育環境を形成するには、すでに成立している生きものの生息・生育環境の保全維持を図るとともに、これらの土地が有する自然的なポテンシャルを踏まえて、生きものの生育・生息環境の質を向上させていくことが求められる。

そのためには、生きものの生息・生育環境のネットワーク化（回廊）を図り、生態的機能を強化していくこと、つまり谷津景観や平地林・斜面林の保全、風致地区や地域景観の緑の保全、農地（特に生産緑地）の活用、さらには都市公園のさらなる整備を図りつつ、これらと水辺とのネットワークの形成を目指すことが、極めて重要である。

水と緑の回廊（コリドー）構想の基本的な考え方は、以下の通りとする。

#### 1) 「水と緑」の軸

- (1) 「水と緑」の軸として、大柏川沿いを幹線軸とする
- (2) 谷津として残っている3箇所の水路沿いを支線軸とする
  - ① 大町自然公園—市川霊園—親子ふれあい農園—大柏川へのせせらぎ
  - ② 大野四丁目谷津—親子ふれあい公園—大柏川へのせせらぎ
  - ③ うしろ谷津—大野調節池—風致地区梨風園（斜面林）—こざと公園調節池への水路

#### 2) 「水と緑」の拠点

- ① 大町自然公園・市川霊園・その周辺地域
- ② 大野町四丁目谷津・駒形神社・その周辺地域
- ③ うしろ谷津・大野調節池・こざと公園・その周辺地域
- ④ 大柏川第二調節池（計画）地域
- ⑤ 親子ふれあい農園・大柏川浄化施設緑地・地区公園（計画）地域
- ⑥ 下貝塚・派川大柏川・大柏川第一調節池・北方ミニ自然園・スポーツ公園・柏井調節池地域

### 3) 「緑」の拠点

- ① 大町小わんぱくの森と周辺の森
- ② 柏井青少年の森とその周辺（葛南広域公園一計画）と姥山貝塚公園地域

### 4) 水と緑によるネットワーク

これらを「水と緑」により、出来るだけ回廊（コリドー）として連結する。

即ち、地域内での生きものの生息・生育環境の優れている17ヶ所のネットワーク形成に向けて、地域の中の「水と緑」を軸にして、谷津、斜面林、平地林、農地（梨園・蔬菜畑・水田・生産緑地・休耕田）、都市公園、保全緑地、学校の施設緑地、個人・企業の庭園などの小規模な緑を計画の中に取り込み、連結または飛び石上につながるよう総合的に計画することが重要である。

- (1) 大柏川沿いの植樹滞及び休耕田を整備し、第一調節池・第二調節池（計画）・親子ふれあい農園・浄化施設緑地・河川ミニ公園・都市公園（計画）等を結びつけながら、「水と緑」の【幹線軸】を形成する。
- (2) 谷津景観と水路が残っている三つの【支線軸】を整備し、【幹線軸】に結びつける。
- (3) 各【支線軸】は梨園や斜面林等により、平地林や斜面林が残っている「わんぱくの森」等の《緑の拠点》へ連結する。
- (4) 柏井方面は第二調節池の《水と緑の拠点》から柏井青少年の森の《緑の拠点》を結び、さらに柏井調整池を経て大柏川第一調節池の《水と緑の拠点》へと連結する。

回廊（コリドー）とは、単に人間の利用する遊歩道整備を意味するのではない。地域に点在して残る「水と緑」の自然環境を連結しネットワーク化することにより、地域全体の生態系のポテンシャル（生きものの生息・生育環境の質、種多様性）を向上させることに眼目がある。自然環境を維持・増進させることをもって、「自然や歴史と共生した住みやすいまちづくり」を実現させるよう、提案する。

## 1-3 大柏川流域の「水と緑の回廊」の実現への取り組みの方向性

大柏川流域の「水と緑の回廊」の実現に向けては、行政の各担当部門（主体）の協力と地域社会全体の取り組みが必要で、かつ地域の地権者を含む多くの市民の合意形成（コンセンサス）が不可欠です。

市川は全域で市街化が進み自然環境が虫食的に縮小・分断・消失しつつあります。都市域で自然を保全・再生・創出して「水と緑の回廊」を実現させるには、まちづくりとしての位置づけが不可欠です。即ち、行政は、計画作成や実施のリーダーシップを果たしながら、市民（地権者も含む）や地域企業などとの相互理解を深めつつ、共通の認識を醸成しながら連携・協力できる体制を造ることが必要で、市民と行政の協働を積極的に推進すべきです。

## 1-4 大柏川流域の「水と緑の回廊基本計画」と市民政策提案制度

私達、緑のみずがき隊・市川緑の市民フォーラム・真間川の桜並木を守る市民の会は、2006年2月に市川市へ大柏川流域の「水と緑の回廊構想」の提案書を提出し、同年度に4回にわたり、市川市役所の関係部署の方々と意見交換を重ねました。その中で「市川市市民等の市政への参加の推進等に関する要綱」による市民政策提案制度が取り上げられ、その活用が話題となりました。

「市川市市民等の市政への参加の推進等に関する要綱」は、市民参加のしくみを体系化し市民等と市との協働による自治を推進する目的で、2006年10月に施行されました。その第4条（市の執行機関等の役割）で「市政の運営に当たっては、市民参加によることを基本として、市民参加に必要な制度を整備し、市民等の市民参加の機会を提供する」とし、第5条（市民参加対象となる事項）で「（2）総合計画、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定及び変更」があげられています。第7条（市民参加の方法）では自発的に「市民等が具体的な政策等を市の執行機関に提案」する市民政策提案が、第12条ではその提案手続きが示されています。

同要綱の市民政策提案制度の説明を市担当課から伺いましたが、「市民から提案される内容が立派であっても、実際に施策をどう動かすかその仕組み作りが大変。大柏川流域水と緑の回廊構想は規模が大きくて具体的事業に結びつきにくい面があり、それだけでは市民政策提案制度にのりにくいのではないかと。具体的事業と構想をセットで出してはどうか」との助言を受けました。

私達は、大柏川流域の「水と緑の回廊」を実現させるために、同構想を基に必要な具体的事業を洗い出して同基本計画を作成し、そのうち市川市が主導すべき事業を市民政策提案制度で市川市へ提案いたします。

## 1-5 大柏川流域の「水と緑の回廊基本計画」の検討方法

大柏川流域の「水と緑の回廊基本計画」は、次の手順で検討し作製しました。

### 1-5-1 「水と緑」居心地資源の再発見行動 -水と緑の探検-

大柏川流域の自然環境について社会的・人文的事柄も含めて現状を把握するため、広く市民に呼びかけて、現地の見学・調査を2006年8月~2007年4月、4回に分けて行いました。「水と緑の回廊」を構成する大柏川幹線軸と3つの支線軸、6つの「水と緑の拠点」と2つの「緑の拠点」を実際に歩き、五感を使って「水と緑」居心地資源を見つけ出し、巡検後に参加者で良いところ、悪いところを話し合いました。以下の4つの探検ルートで行いました。

- (1) 長田谷津・花池谷津の支線軸及び大町自然公園・大野町4丁目の「水と緑の拠点」の探検ルート（2006年8月、24人参加で実施）  
・大町自然公園の長田谷津から市川霊園、親子ふれあい農園を通り、大野町4丁目谷津まで
- (2) 柏井青少年の森の「緑の拠点」及び柏井調節池・大柏川第一調節池の「水と緑の拠点」の探検ルート（2006年11月、23人参加で実施）  
・市川霊園から柏井青少年の森、姥山貝塚公園を通り、大柏川第1調節池・ミニ自然園まで
- (3) 大町わんぱくの森の「緑の拠点」及びうしろ谷津の支線軸の探検ルート（2007年3月、20人参加で実施）  
・大町わんぱくの森からうしろ谷津を通り、こざと公園まで
- (4) 大柏川幹線軸の探検ルート（2007年4月、32人参加で実施）  
・大柏川源流・囃子水公園から大柏川第2調節池予定地を通り南大野まで

詳しくは「水と緑の探検報告書」をご覧ください。

## 1-5-2 「水と緑」居心地資源の分析・評価及び自然環境形成方針の検討

### -水と緑の検討会-

まず、現地の見学・調査「水と緑の探検」の結果を踏まえ、地域毎に「水と緑」居心地資源の現状を分析・評価して生態系のレベルアップの方向を決め、将来にわたっての自然環境形成の方針を作成しました。2007年7月~2008年2月現在までで検討会を4回持ちました。分析や評価の項目、自然環境形成の方針の区分は、以下の通りです。

#### 【各居心地資源の分析・評価項目】

##### ① 重要・貴重度

生きものにとって生息・生育や移動するために、そこがどのくらい重要でかつ貴重な場所であるか。

##### ② 生態的居心地度

生きものにとって、そこがどのくらい生息しやすい場所（居心地良い）になっているか。

##### ③ 担保性

その場所（土地）が将来にわたって担保でき、保全することができるか。

##### ④ エコアップの方向性

その場所の自然環境を再生や創出をして、生きものの生育生息環境をよりよく改良・改善し生態的に高めるための方策。

#### 【自然環境形成の方針】

① 保全＝現在の環境を引き続き保っていく。

② 再生・創出＝以前の良い環境に改善し、新たに生きものの環境を作り出す。

③ 管理・改善＝管理手法を改善して、生きものの生育生息環境をより良くする。

④ 活動拠点＝生きものとふれあいや環境教育等の活動拠点にすることが出来る場所。

次に、これら分析・評価及び自然環境形成方針を踏まえて地域毎の事業を立案し「水と緑の回廊（コリドー）」基本計画を作り、さらに市が主導すべき事業を市民政策提案にまとめました。各事業は、以下のように短期・中期に分けて提案します。

① 短期政策＝早急を実施しなければならない箇所、予算が余りかからず市民協働で実施できる箇所、条例等で解決できる。

② 中期政策＝重要かつ緊急性があるが、計画検討に時間がかかり、かつ予算が必要となる。

## 2. 大柏川流域の「水と緑の回廊（コリドー）基本計画」

### 2-1 上位計画

大柏川流域は市川の北東部に位置し、市域の中でも比較的自然環境が豊かな地域です。市川市の「都市計画マスタープラン」や「みどりの基本計画」及び「環境基本計画」では次のように謳われています。

#### ■ 都市計画マスタープラン

##### 【北東部の地域づくりの目標】

- ・豊かな自然環境を大切に育むまちづくり
- ・自然や歴史と共生した住みやすいまちづくり

- ・誰もが安心して住み続けられる優しいまちづくり
- ・多世代が交流するコミュニティのあるまちづくり

## ■ みどりの基本計画

### 【北東部地域の方針】

#### 一里地・里山を活かしたまち

##### ①緑の課題

- ・河川・谷津・樹林地・農地等市川市を代償する特色ある自然環境の一体的な保全と地域住民が緑の減少に対して問題意識をもって活動に取り組める体制づくりが必要です
- ・水辺の拠点として位置付けられている大柏川第一調節池の潤いと安らぎ空間の創出が望まれます
- ・緑の拠点として位置付けられている大町公園は、自然環境の保全とレクリエーション機能の充実が、さらに求められています
- ・環境保全機能のある生産緑地地区の保全・活用が求められています

##### ②施設の方針

###### ◇樹林地の保全と活用

- ・谷津環境を形成する樹林地の活用
- ・大町周辺の樹林地の保全と活用推進

###### ◇風致地区（大町・法華経寺・八幡）の保全

- ・風致地区の保全

###### ◇地域景観を形成する樹木の保全

- ・社寺林・屋敷林等の保全
- ・中山法華経寺と周辺景観の保全
- ・クロマツ・巨木等を核とした中心市街地の緑化推進

###### ◇農地（生産緑地地区）の保全・活用

- ・生産緑地地区の保全・活用

###### ◇都市公園の整備

- ・大町公園の整備
- ・（仮称）葛南広域公園の整備
- ・姥山貝塚公園の整備
- ・運動公園の整備

###### ◇水辺の拠点とネットワーク

- ・大柏川第一調節池及び川沿い環境の保全
- ・大柏川沿いの環境の保全
- ・市のシンボルとなる真間川沿いの緑化推進

## ■ 環境基本計画

### 基本目標

自然が息づく文化都市市川を未来に引き継いでいくために

### 基本理念

#### ◇人と自然との共生

- ・自然環境の保全

生物の生息環境の確保、生態系の保全・回復

- ・自然とふれあいの場や機会の確保
  - 緑のふれあいの場の確保、水とふれあえる場の確保、環境に配慮した歴史や文化とふれあえる場の確保、安全な都市環境の確保
- ◇市民・事業者・市が一体となったと取組み
  - ・環境保全活動に参加する社会の実現
    - 環境に配慮した生活の促進、環境に配慮した事業活動の促進、環境保全活動への支援
  - ・環境教育の推進
    - 環境学習の実施、環境学習の体制の整備、環境学習の情報の提供

## 2-2 計画のテーマ

私達、緑のみずがき隊・市川緑の市民フォーラム・真間川の桜並木を守る市民の会は、河川・谷津・樹林地・農地等市川を代表する特色ある自然環境の保全と「水と緑」の減少に対して問題意識を持ちながら、地域の自然環境を保全・再生する活動を通して私たちの「まち」を「水と緑の回廊」で結び、生物の生息環境の多様性を高め、かつ、「水と緑」にふれあえる場を確保することを目指して、まちづくりの基本テーマを次の通りとします。

### 豊かな自然と人が共存できる住みやすいまちづくり

## 2-3 計画の基本方針

大柏川流域において生きものが生息生育していくための環境の保全、再生・創出、活用の基本方針を以下のように設定します。

- ・斜面林等樹林地や水辺の環境保全・再生・創出
- ・水みちや湧水の保全・再生・創出
- ・梨園等畑地、水田、生産緑地の保全
- ・休耕田や荒地・草地の活用
- ・社寺林、遺跡や古道等の保全・再生
- ・保全、再生・創出した場を環境教育等に積極的活用

以上を基本に、地域の歴史や文化に根ざしたまちづくりを行ないます。

## 2-4 地域別の現状分析・評価

大柏川流域の「水と緑の回廊構想」を踏まえて、4回にわたり「水と緑」居心地資源の再発見行動・水と緑の探検を行ないました。今回は第1回と第2回の探検ルート of 地域について、各地域の現状を分析・評価してまとめ、以下に示します。

第3回と第4回の探検ルート of 地域については後日、第二次提案とともに示します。

### 2-4-1 長田谷津・花池谷津の支線軸及び大町自然公園・大野町4丁目「水と緑の拠点」

第1回水と緑の探検（2006年8月実施）では、大町自然公園の長田谷津から市川霊園、親子ふれあい農園を通り、大野4丁目谷津（花池谷津）まで現地で見学・調査を行い、それを後

日に水と緑の検討会で分析・評価しました。

分析・課題評価基準は、1-悪い、2-やや悪い、3-普通、4-良い、5-非常に良い。  
 自然環境形成方針は、○—すべき、◎—特にすべき、●—緊急にすべき。

第1回「水と緑」居心地資源分析・評価及び自然環境形成の方針は表1の通りです。また、表1に基づき、この地域の保全箇所は図1、再生・創出箇所は図2の通りです。

表1 第1回探検分「水と緑」居心地資源分析・評価及び自然環境形成の方針

居心地資源 項目	分析・評価項目				自然環境形成方針			
	重要 貴重 度	生態的 居心地 度	担保 性	エコアップの方向性	保全	再生 創出	管理 改善	活動 拠点
台地上の梨園	5	4	4	生物の移動や谷津の地下水涵養のため営農の継続	◎			
大町公園								
自然観察園								◎
・斜面林	5	5	3	今後の管理手法に検討の要あり	◎		○	
・湧水と水路	5	5	5	生物生育環境に合った維持管理	◎		○	
・ハンノキ林・湿地	5	5	5	ハンノキ林は年々増加しているため、斜面林の管理手法の検討と合わせて将来の管理方針を決める	◎		○	
・住宅下水排水処理	5	2	3	合併浄化槽に改良し、排水施設は地下に埋設する			◎	
フィールド	5	4	4	引き続き樹林として管理する	◎			
アスレチックの樹林								
バラ園	2	1	5	バラに適している動物公園方面に移設し、草原にし、中央の水路は草土手水路に改良		◎	○	
噴水池	5	3	5	土砂が堆積し浅くなっているため、浚渫して変化を持たせたピオトープに改良する。 カワセミの餌場になっているため、錦鯉を整理し、小魚や水生生物を多くする	○	◎	○	
せせらぎ園	5	1	5	当面は現状のままとし、改良方針を出来るだけ早く決定し、生物にやさしい草土手水路に改良	○	◎		



市川霊園									
斎場前水路	5	2	4	大町公園から大柏川までの水みちエコロジカルネットワーク計画の中で、水生動植物が生息できる草土手水路に改良	◎	○			
総武霊園									
・園内緑化	4	1	3	墓地内に高木を植栽し、墓参の緑陰や生物移動や生息場としてエコアップする	◎	○			
・園内水路	4	1	4	当面はそのままとし、右岸の植樹帯に高木を植栽しエコアップを計る	◎	○			
市川霊園斜面林	5	4	5	自然植生保護管理を続ける	◎		○		
斜面林下湧水	5	1	5	水みちエコロジカルネットワーク計画の中で利用を考える	◎	◎			
斜面林下道路・擁壁	5	1	5	水みちエコロジカルネットワーク計画の中で、斎場前水路を取り込みかつ斜面林下湧水を利用した「水と緑」の緑道として整備する					
親子ふれあい農園									◎
コンクリート壁水路									
・霊園からの水路	5	2	5	雑排水を分離し、親水性水路に改良	◎	○			
・東側水路	5	2	5	親水性水路に改良	◎	○			
湧水水路	4	3	4	2箇所の湧水を伴った水路があり、雑排水を分離し生物生息の場としてエコアップする	○				
再生水路	5	2	5	草土手水路を丸太土手水路に改変したが、水生植物は少なくかつ流速が早いので、水生小動物が棲み難くなっている。 当面、堰を設けて流速を弱め、水生植物を植栽し水生生物を誘導する。	◎	○			
田んぼの取水口	5	1	4	水生生物の移動が出来るよう取水口の改善		●			
田んぼ・畑	5	2	4	生物にやさしい有機農法の採用	○	◎	○		
れんげ畑	3	3	4	有機農法と関連付けて活用する	○				
花池谷津とその周辺									
斜面林									
駒形大神社社叢	5	4	5	将来に向けて神社裏手の植林を自然林に改良	○	○			
花池谷津									●
・斜面林	5	4	2	市川市で残された唯一の谷津である。谷津全体が放置されており、早急に地権者の了解を取り付け保全し里山管理を実施する	●	◎			
・葦原湿原	5	4	2	葦原を湿地及び田んぼに還元し、斜面林と合わせて里地・里山管理を行なう	●	◎			
・谷津からの湧水水路	5	4	4	斜面林を整理し水路へ光を導入し、水生植物を豊かにすると同時に、ザリガニを駆除し水生生物の復活を計る	●	◎			

・谷津下流北側斜面林 と斜面林下湧水水路	5	4	4	現在は放置され荒れているが、ザワガニが生息する湧水水路である。花池谷津からの水路との連続性を計り、湧水と合わせてせせらぎの再生を計る。	●	◎		
・中央水路	4	2	5	集落からの下水を分離して、花池谷津からの水路から北側斜面林下水路を受けて、親子ふれあい農園導く草土水路に改修	○	◎	○	

## 2-4-2 柏井青少年の森「緑の拠点」及び柏井調節池・大柏川第一調節池「水と緑の拠点」

第2回水と緑の探検は市川霊園から柏井青少年の森、姥山貝塚公園を通り、大柏川第1調節池・ミ二自然園まで現地で見学・調査を行い、それを分析・評価しました。

分析・課題評価基準は、1-悪い、2-やや悪い、3-普通、4-良い、5-非常に良い。  
自然環境形成方針は、○-すべき、◎-特にすべき、●-緊急にすべき。

第2回「水と緑」居心地資源分析・評価及び自然環境形成の方針は表2の通りです。また、表2に基づき、この地域の保全箇所は図3、再生・創出箇所は図4の通りです。

表2 第2回探検分「水と緑」居心地資源分析・評価及び自然環境形成の方針

居心地資源 項目	分析・課題項目				自然環境形成方針			
	重要 貴重 性	生態的 居心地 度	担保 性	エコアップの方向性	保全	再生 創出	管理 改善	活動 拠点
墓地園内緑地	3	1	5	設置条例を定め、緑被率を高める			○	
柏井少年の森 遊水池・水路	5	2	5	遊水池・水路を清掃し、せせらぎを再生させ、雑木林と一体的な自然観察の森にする	○	◎	○	◎
雑木林	5	4	5	管理方針の確立	○		○	
遊戯店駐車場	5	2	1	アスファルト舗装の撤去、両市の調整	○	○	●	
表谷津 安川氏の森	5	4	2	猛禽類も生息し、自然度が高い 両市が共同して保全を要望する	◎			
表谷津緑地・小公園	5	3	5	緑地の清掃・整備	○		○	
斜面林・遊水池	5	3	1	動物移動のため保存する。湧水池は斜面林と一体的に保存する	○		○	
法典高校脇水路	5	1	5	法典高校からの水路は雑排水と分離して自然素材で再生させる	○	○		

姥山貝塚公園									
八幡神社	5	4	5	貝塚公園と連続性を確保	○				
貝塚公園	5	3	5	貝塚公園の展示・解説を充実させる	○	○	○		
斜面林	5	4	2	公園との一体的な斜面林であるので、公有地化を要望する	◎				
妙正寺境内	3	3	4	境内の桜等樹木及び池の保全と維持管理、北側ブロック塀を生垣に改造	○		○		
柏井調節池									○
調節池内	5	1	5	生物相は貧弱である。池内に浮島や法面を一部改良・水生植物を植栽し、鳥類・魚類を呼び込みたい。また、一部釣堀を計画する	○	◎	○		
堤防部	5	1	5	堤防外周フェンスを法面肩に移し、1m位の修景フェンスとする。堤防には桜等を植栽し、東高校方面や船橋法典駅方面に通ずる遊歩道を計画する	○	◎	○		
大柏川第1調節池・北方ミニ自然園・市民プール									◎
市民プール周辺	5	2	3	プール北側周辺を運動公園として買収が進んでいる。プールも再整備の話があり、生き物の移動も考えた緑多い総合運動公園としてリニューアルを期待する	○	○	○		
大柏川第1調節池（北方遊水池）	5	4	5	市民参加で自然環境復元・創造により一応の完成を見、7月1日開園された。今後は定期的なモニタリングを通して多様な生物生息空間を目指して、運営維持管理を進めることが重要である。	○	◎	◎		
北方ミニ自然園	5	4	2	大柏谷の原風景が残っている貴重な場所である。現在市民団体が稲作体験等環境教育の場になっている。 北方遊水池を含めたこの区域は、市民プール周辺の運動機能を中心とした「動」の空間と対比される自然観察機能を備えた「静」の空間である。 従って、この地域は「動」と「静」の施設が一体的に利用できる市内でも数少ない場所である。	◎	○	○		
美濃輪公園下湧水及び水路	5	1	5	湧水量が多い池と水路であるが、水路は三面張り水路で水位が低く、生き物も貧弱である。水路部分を道路と一体的にしたコミュニティ道路に改修し、生き物に配慮した自然石や草土手のせせらぎに再生させる。	○	○	○		

#### 備考1：【各居心地資源の分析・評価項目】

##### ① 重要・貴重度

生きものにとって生息・生育や移動するために、そこがどのくらい重要でかつ貴重な場所であるか。

##### ② 生態的居心地度

生きものにとって、そこがどのくらい生息しやすい場所（居心地良い）になっているか。

##### ③ 担保性

その場所（土地）が将来にわたって担保でき、保全することができるか。

##### ④ エコアップの方向性

その場所の自然環境を再生や創出をして、生きものの生育生息環境をよりよく改良・改善し生態的に高めるための方策。

#### 備考2：【自然環境形成の方針】

① 保全＝現在の環境を引き続き保っていく。

② 再生・創出＝以前の良い環境に改善し、新たに生きものの環境を作り出す。

③ 管理・改善＝管理手法を改善して、生きものの生育生息環境をより良くする。

④ 活動拠点＝生きものとふれあいや環境教育等の活動拠点にすることが出来る場所。

## 2-5 地域別の計画

大柏川流域の「水と緑の回廊構想」を踏まえて、4回にわたり「水と緑」居心地資源の再発見行動・水と緑の探検を行ないました。今回は第1回と第2回の探検ルート of 地域について、各地域の短期・中期の保全及び再生・創出の計画をまとめ、以下に示します。

第3回と第4回の探検ルート of 地域については後日、第二次提案とともに示します。

### 2-5-1 長田谷津等「支線軸」

この地区は大町公園の自然観察園からの湧水を源として、市川市斎場・総武霊園から親子ふれあい農園を経て大柏川に注ぐ、市内一番の水質・水量を持った約3kmの水みちを軸にした「水と緑」の回廊です。

ここは、せせらぎと谷津形態がセットで残っており、市川市域の里地・里山を再生・創出することにより「水と緑」の回廊になりうる区域です。

#### ■ 短期計画

- ・自然観察園の斜面林維持管理マニュアル作成計画—政策提案参照
- ・バラ園の移転と自然環境復元計画—政策提案参照
- ・噴水池の自然環境復元計画—政策提案参照
- ・総武霊園内緑化計画—政策提案参照

#### ■ 中期計画

- ・市川斎場内及び市川霊園斜面林下道路せせらぎ緑道再生・創出計画—政策提案参照
- ・せせらぎ園水路のジャブジャブ遊びができる自然水路改修計画

せせらぎ園水路は親水設計になっていますが、コンクリート三面張りであり生物の生態的居心地度は最悪です。当面はこのまま使用するとしても早晩自然水路に改修し子供たちがジャブジャブ遊びをしながら生物と触れ合える小川にすべきです。

## 2-5-2 親子ふれあい農園等「水と緑の拠点」

市川北高校北側は以前から水田でしたが、その一角を市川市が地権者の協力を得て小川再生事業を実施し親子ふれあい農園を設けました。現在、地元農家に加わって米っ人倶楽部により水田耕作が行われています。

用水は大町自然観察園（長田谷津）と花池谷津からの湧水により、それぞれコンクリート壁水路により水田取水が行われています。

また、以前の水田はこの用水から草土手水路を経て取水していましたが、小川再生事業により流速のある木杭護岸の水路になったり、水田の取水装置が小動物には優しくなかったり、今後に改良を残しています。

### ■ 短期計画

- ・水田の取水口改善計—政策提案参照
- ・木杭護岸水路の改良

流速を弱めるため取水口位置に堰を設置し、水路にマコモ等水草を植栽する

- ・水田の冬季灌水計画—政策提案参照

### ■ 中期計画

- ・総武霊園下流コンクリート水路の自然水路改修計画—政策提案参照

## 2-5-3 花池谷津等「支線軸」

市域で規模は小さいが斜面林を伴った谷津形態がそのまま残っている唯一の区域です。

現在は竹林・植林・自然林からなる斜面林と葦原の湿地部分からなっており、荒れ放題の状況です。隣接して駒形大神社の樹林がつながっています。谷津下流の北側斜面林下には湧水の伴ったサワガニが息する水路があり、中央水路に流れています。

すべて民有地であり、早急に保存に向けて検討に入ることが求められます。

また、この谷津湧水からの水路は、一部住宅地からの排水が入っていますが、開渠の水路で親子ふれあい農園まで水みちが確保されています。

### ■ 短期計画

- ・花池谷津の保全・再生・創生計画—政策提案参照
- ・花池谷津及び谷津下流北側斜面林下水路の再生計画—政策提案参照

### ■ 中期計画

- ・中央水路の草土手改修計画

中央水路の下部は二面張りで上部は草土手になっています。雑排水も入って深い水路になっているので、下水道整備を待って整備検討を行いません。

## 2-5-4 柏井青年の森・姥山貝塚公園等「緑の拠点」

この地域は市川市と船橋市との市域境で、両市の「水と緑」の資源を基本に千葉県広域公園計画が予定されています。

市川で貴重な平地林の柏井青少年の森は、キャンプ場等野外活動に利用されている。ここには湧水による小川が約300mにわたり自然のまま残されていますが、枯れ木や粗大ゴミが放置され荒れた状態です。また、樹林地は船橋市域も含めて大きな広がりを持っていますが、林床植物の再生や船橋側遊技場の駐車場改良など課題を抱えています。

姥山貝塚公園のある表谷津はすでに開発が進み、安川氏の森の他は若干の緑地・斜面林・水路・湧水池が残されているのみですが、動物移動のためには現在残っている「水と緑」の資源保全が求められます。

#### ■ 短期計画

- ・墓地の緑化計画

既存墓地については中高木樹を出来るだけ植栽するよう指導します。

- ・柏井青年の森保全・再生計画—政策提案参照
- ・姥山貝塚公園の展示改良及び斜面林保全計画—政策提案参照
- ・安川氏の森保全・再生計画—政策提案参照

#### ■ 中期計画

- ・千葉県広域公園計画—政策提案参照
- ・表谷津斜面林及び湧水池の保全・再生計画—政策提案参照

## 2-5-5 大柏川第一調節池等「水と緑の拠点」

表谷津が大柏谷に出た平坦で開けたところにあり、表谷津の開発のための柏井調節池、大柏川の治水施設で水辺プラザ事業として自然環境復元・創造が市民協働で行われた大柏川第1調節池、これに接して市民ボランティアが取り組んでいる北方ミニ自然園、市川東高校周辺の水路に沿った桜並木の遊歩道等、宅地化が進む中で多くの水と緑の拠点が散在しています。

将来的に、既存の市民プールを中心に買収が進んでいるスポーツ公園等「動」の施設とこれら自然系の「静」の緑地を一体的に利用できるよう工夫が必要な地域です。

なお、大柏川右岸側には下貝塚の斜面林や休耕田等からの絞り水が派川浄化施設を経て派川大柏川に注いでおり、ここも生物のためには見逃せないところです。

#### ■ 短期計画

- ・柏井調節池自然環境再生・創出計画—政策提案参照
- ・大柏川第一調節池緑地自然環境復元計画—政策提案参照
- ・大柏川第一調節池緑地の運営維持管理マニュアル作成計画—政策提案参照

#### ■ 中期計画

〔大柏川中流域「水と緑」総合計画〕—政策提案参照

- ・柏井調節池自然環境再生・創生計画
- ・大柏川第一調節池緑地自然環境整備計画
- ・二ミ自然園保全計画—政策提案参照
- ・北方総合公園計画—政策提案参照
- ・地域緑道計画—政策提案

以上。